



「2つの日本初」

明治維新後の近代日本において、相互扶助制度の必要性を強く認識した安田善次郎は、1880年1月1日に安田生命の前身である共済五百名社を創立し、日本初の賦課式保険制度*1をスタートさせました。

一方、福沢諭吉の門下生であった阿部泰蔵は、福沢諭吉が「生涯請負」という言葉で紹介した生命保険を事業として発展させるべく、1881年7月9日に日本初の近代的生命保険会社*2として、明治生命を開業しました。開業当初の明治生命の株主のうち8名は、共済五百名社の社員でした。

こうして2つの「日本初」の組織が相次いで設立されたことにより、日本の生命保険事業が本格的にスタートをきりました。

先人たちの生命保険に対する熱い志とともに、設立当時から両社の「絆」は存在しており、今日の明治安田生命の結びつきの始まりは、ここにありました。

*1 賦課式保険制度 あらかじめ定額の保険料を払い込む代わりに一定期間経過後、その期間内に発生した保険事故に応じて、必要となる金額を保険料として徴収することで保障を行なう制度

*2 近代的生命保険会社 保険料率の計算基礎に実際の死亡率を使用した科学的な生命保険制度を採用した会社

トップメッセージ	3
—「絆」に込めた思い— —CSR経営への決意—	
生命保険事業の使命を自覚して	5
行政処分の対象となった不適切な取扱いの概要 不適切な取扱いはなぜ起きたのか 業務改善計画・明治安田再生プログラム	
CSR経営宣言	17
企業ビジョンおよび行動規範の改定 CSR経営宣言の制定	
お客さまとの絆	19
「お客さまの声」を経営に活かすために お客さま満足度調査 組織の基本的役割について 「新・営業教育カリキュラム」の導入 説明責任を果たすための諸施策の導入	
ガバナンス	29
ガバナンス態勢の抜本的な改革 よりいっそう社会から信頼される会社となるために 情報開示の推進	
コンプライアンス	35
お客さまの信頼にお応えするために コンプライアンス推進態勢 コンプライアンス推進諮問会議の設置	
お客さまが暮らす社会・環境との絆	41
社会貢献・環境保全活動	
従業員との絆	49
お客さまを大切にするための従業員育成 働きやすい職場環境・健康維持管理のために	
編集後記	53
会社概要	

●編集方針

本報告書は、明治安田生命が初めて発行するCSR報告書です。

巻頭で「不適切な保険金等の不払い等に関する行政処分」について総括・検証し、お客さまや社会からの信頼を回復するための取組みを特集としてまとめています。

本編は、新たに制定した「CSR経営宣言」における5領域（お客さまとの絆、ガバナンス、コンプライアンス、お客さまが暮らす社会・環境との絆、従業員との絆）に沿って編集しています。

また、当社がCSRに取り組む意識・姿勢の紹介に加え、お客さま、役職員、ならびに社外委員等をはじめとするステークホルダーから寄せられた、当社に対する具体的な評価・期待に関する「生の声」も数多く掲載しました。

記載項目は、包括性・網羅性に配慮しつつ、取組みの重要度に応じて記載しています。

なお、財務情報等の詳細については、ディスクロージャー資料「明治安田生命の現況」ならびに当社ホームページをご覧ください。

報告の範囲

明治安田生命保険相互会社（内容に応じ、子会社等を含む）における経済・社会・環境活動

報告対象期間

2006年1月～2006年12月

ただし、これ以前の事実や、発行日直近の内容を含む

発行日

2007年2月

参考としたガイドライン

GRI (Global Reporting Initiative)
「GRIサステナビリティ・リポーティング・ガイドライン2002」

発行

明治安田生命保険相互会社 企画部
TEL 03-3283-8111 (代表)

明治安田生命の現況

<http://www.meijiyasuda.co.jp/profile/disclosure/>

当社ホームページ

<http://www.meijiyasuda.co.jp/>